

2年連続 好成績!

歯科医師国家試験

合格率17私大中 第2位

3月29日、厚生労働省から第103回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,465人中、合格者は2,408人、合格率は69.5%でした。福岡歯科大学からは新卒者100人及び既卒者28人、計128人が受験し、103人が合格しました。合格率は80.5%で、私立歯科大学17校中第2位という素晴らしい結果を収めました。昨年度も合格率76.0%、私立歯科大学中5位という成績で2年連続好成績を収めることができました。

今回は合格判定に大きな変化がありました。必修問題はそのままの判定法でしたが、従来の一般問題と臨床実地問題を分けて基準点を設定する方法から、領域別に基準点を設定する方法へと変更されました。このような変更は誰も予測できなかったことでしたが、本学の学生はそうした事に動じることなく普段の授業で培われた応用力を見事に発揮することができました。

	平成21年度		平成20年度	
	合格率(順位)	新卒合格率(順位)	合格率(順位)	新卒合格率(順位)
福岡歯科大学	80.5%(2位)	84.0%(4位)	76.0%(5位)	88.9%(1位)
全国平均	69.5%	81.6%	67.5%	76.1%

この好成績をお祝いして田中理事長から紅白饅頭が学園役員・教職員及び臨床研修歯科医等に振舞われました。

歯科衛生士国家試験

合格率100%

3月25日、厚生労働省から第19回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学歯科衛生学科からは卒業生ら78人(既卒者3人を含む)が受験し、合格者は78人、合格率は100%でした。ちなみに全国の合格率は97.2%でした。

昨年度は国家試験対策として、過去の国試問題から出題する演習試験を隔週で全15回行い、成績不振な学生に対して水曜放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習試験・模擬試験の成績不振者には冬期休暇中に補習を実施しました。このような国家試験対策と学生の努力により達成できました。

教育施設・設備を充実

統合型実技教育実習室の新設

平成22年2・3月に、402実習室を改修して統合型実技教育実習室および示説室を新設し、铸造・重合室の一部を改修しました。

統合型実技教育実習室には、PCを装備したマルチメディア対応の実習机を整備しています。主に3,4年生が使用し、治療の流れを理解し、それまでに得た知識を生かした診察・検査・診断実習、医療面接等の態度実習を統合した臨床基礎実習を行います。実習説明内容をデジタルアーカイブ化し、ビジュアル化したe-learningシステムを導入し、PCを活用し個々のニーズに合った学習環境で、学生が自分の進度に合わせて実習を進める学習者中心の問題解決能力養成型の統合型実技教育システムを構築しています。また、隣接する示説室ではグループ別実習指導を行うことができ、さらに铸造・重合室での技工操作なども含めて、実際の臨床の流れに沿った診察・技工実習を行うことができます。

なお、本事業の一部は、平成21年度文部科学省「教育装置の整備に係る助成」、「ICT推進活用事業助成」、「教育基盤設備助成」による補助により行われました。



本館・研究棟の耐震工事了

昨年から行われていた本館及び医科歯科総合病院のうち研究棟(総合歯科等の臨床系研究室等が配置されている部分)の耐震補強工事が3月に完了しました。補強工事の完了により両建物は、キャンパス内にある他の建物と同様、震度6強の地震に耐えうる構造となり、学生等の安全確保だけでなく、大規模災害発生時における地域の防災拠点としての役割も果たすこととなります。



完成した研究棟



完成した本館

エコなトイレ環境を実現

耐震工事で並行して進められていた本館及び研究棟のトイレ改修工事も予定どおり3月に完了し、明るく清潔で、地球環境に優しい節水型エコトイレが整備されました。



耐震エレベーターを設置

建物の耐震化と共にエレベーターの安全性を確保するため、本館及び研究棟は耐震性能を備えたエレベーターにリニューアルしており地震発生時には最寄り階に停止して利用者の生命を守ります。

眼科開設

福岡歯科大学では、口腔疾患を全身と関連づけて診ることができる歯科医師を養成するため「口腔医学の確立」を目指した特色ある教育、診療を行っています。この方針に基づき、歯科だけでなく内科や外科を始めとする隣接医学の充実にも重点的に取り組んできましたが、本年4月から新たに「眼科」を開設し、病院拡充を図りました。

眼科では白内障や緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性といったいわゆる眼球内の疾患ばかりでなく、眼瞼下垂や鼻涙管閉塞による流涙症など、眼科全般の診療を行います。

苦痛が少なく質の高い医療を提供するなかで、患者さんのQOLの維持に貢献したいと考えます。



畑快右眼科長(後方中央)とスタッフ